

日本英語文化学会編『英語文化研究』(日本英語文化学会創立 40 周年記念論文集) 成美堂、  
平成 25 年 9 月  
\*編集長・佐々木隆：編集委員・福島昇、市川仁、上石実加子、野村宗央

佐々木隆「シェイクスピアと日本の伝統芸能」, pp. 250-261

はじめに, p. 250

1 プロット類似作品, pp. 250-251

2 明治初期の翻案, p. 251

3 日本の伝統芸能の国際化, pp. 251-253

4 比較演劇学の流れ, pp. 253-255

5 日本の伝統芸能への翻案と融合, pp. 255-257

6 最近のシェイクスピア劇上演研究, pp. 257-260

おわりに, p. 260

Notes, pp. 260-261

Works Cited, p. 261

片山博通の新作シェイクスピア狂言『二人女房』(1952)の成立とこの新作狂言に関する菊地善太による研究を中心に、日本の伝統芸能とシェイクスピア劇の比較から融合への状況を論じた。